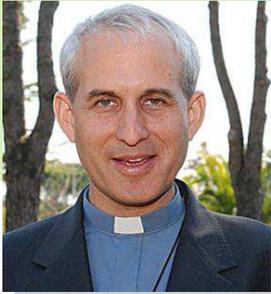


# CAGLIERO<sup>11</sup>

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.69 - 2014年9月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



## 管区宣教促進 担当者は

## すべての管区に宣教の 「夜明けを告げる見張り」

# 友

人の皆さん、

総会后、これまでに最高評議会、また宣教部門では、集中的な仕事を行ってきました。とても豊かな分かち合いと計画の時であり、今この時の、会の宣教顧問の存在意義と責任について、新たに理解する助けになりました。

第27回総会が強く要請し、最高評議会がこの夏の会合で熱心に取り組んだのは、中央統治のさまざまな部門間の協働という課題です(養成、青少年司牧、広報、宣教、財務)。

養成部門に関して、私たちはすでに、方策としてすぐに取りかかることを決めました。宣教部門は、各地域で行われる管区養成担当者の年に一度の会議の、次期地域でのこの会合は、2014年の9月かきりしています: ドン・ボスコのサレ最近の会の指針がどれほど受容さでのその実施を根づかせることです。

部門間の協働のもう一つの機会です。これは2015年の後半、2017最初の会議と最後の会議は、管区青になりました。

以上のことのうちに、私たちは非う側面に関して各管区で変わるべきがあるとすれば、それは管区宣教促進とです。この大切な奉仕職に熱意、知性、勇気をもって取り組むその力量によって、宣教促進担当者は各管区の“夜明けを告げる見張りsentinel”なのです!

私たちは、管区宣教促進担当者の皆さん一人ひとりと常に連絡を保ちたいと思っています。そのために、ジョゼフ・アニクジカッティル神父がヨーロッパの2地域(地中海地域と北・中央ヨーロッパ地域)とアフリカ、アルフレッド・マラヴィツァ神父が東アジア-オセアニア地域とアメリカ大陸の2地域(インターアメリカ地域と南米サウスコーン地域)の管区担当者たちとの連絡を担い、そして私自身、南アジアの管区宣教促進担当者たちと連絡を保つことになりました。

ここで、管区宣教促進担当者の皆さんに簡単に、しかし非常に戦略的で重要なことについて、思い出していただきたいと思えます:

- ◆ アルフレッド神父が直接担当するカリエロ11の配布と、各管区での各国語訳。
- ◆ さまざまな宣教養成コースへの参加を会員に奨励する。(UPS、シロン、キート)
- ◆ 管区でのサレジオ宣教の日の開催。
- ◆ 前の6か年の「キリストを告げる第一次福音宣教研修会」の貴重な資料の配布と学び。この資料は、すでに印刷され、各管区に送られています。

各共同体の祈りの中で、第145回サレジオ宣教派遣のメンバーのために祈りましょう。メンバーは、9月3日からローマとサレジオの聖地で行われる新宣教師研修コースに参加します。コースは28日、ヴァルドッコの扶助者聖母大聖堂にて、総長による宣教の十字架の授与をもって締めくくられます!



管区養成担当者の年に一度の会議の、次期地域でのこの会合は、2014年の9月かきりしています: ドン・ボスコのサレ最近の会の指針がどれほど受容さでのその実施を根づかせることです。

は、管区宣教促進担当者の地域会議で年、2019年に開かれます。この6か年の青少年司牧担当者たちと一緒に行動すること

常に明確な確信に至りました: 宣教ということ、あるいは再び力を入れるべきこと進担当者に依るところが大きいということ

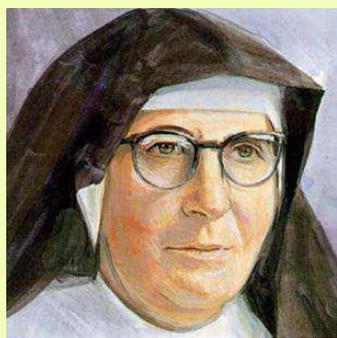
常に明確な確信に至りました: 宣教ということ、あるいは再び力を入れるべきこと進担当者に依るところが大きいということ

*J. Basanes*

宣教顧問  
ギジェルモ・バサニェス神父

## 第145回宣教派遣メンバー

氏名	出身管区	派遣先管区・統治区
1. Martin BONKÁLO神父	スロバキア	アゼルバイジャン(スロバキア管区)
2. Raphael Thembinkosi BHEMBE神学生	南アフリカ	中国
3. Selvakumar Arockia KAMALAKANNAN神父	インド・ティルチー	アゼルバイジャン
4. Jean-Claude KAZADE神父	アフリカ中央	フランス・ベルギー南
5. Celestine KHARKHONGOR神父	インド・グワハティ	東アフリカ
6. Lupicino Hyun Shik KIM神父	韓国	ザンビア
7. Peter Hoai Van NGUYEN神学生	ベトナム	パプアニューギニア・ソロモン諸島
8. Sabu Joseph PUTHUKULATHIL神父	インド・ハイデラバード	ハンガリー
9. Harsha Bandara THENNAKON神学生	スリランカ	パプアニューギニア・ソロモン
10. Beatus Vokmar TOLA神学生	インドネシア・チモール	ブラジル・カンポグランジ
11. Joseph Van Lich TRAN神学生	ベトナム	ブラジル・カンポグランジ
12. Efren UMANDAL修道士	フィリピン北	アフリカ・エチオピア・エリトリア



### サレジオの宣教の聖性のあかし

「そうです、私は神様の助けを大いに必要としています：神様が私にゆだねられた使命は大変困難なものです；骨の折れる旅です。でも、これほどの勇気をくださった神様は、私を見捨てることはありません：私はイエスをとても近くに感じます、ご自分がおられるのを感覚的にわかるようにしてくださっていると見えるほどです；事実、私のようなこれほど弱い、貧しいものが、どうしてこのような力を持てたというのでしょうか？ どうしてこれほどの勇気を持てたのでしょうか？ また、異国の、ほとんど野蛮といえるほどの荒れ野で、どうしてこれほど幸せに、満ち足りて暮らせるのでしょうか？」(1923年7月13日)

サレジアン・シスターズ、エクアドルの宣教師  
福者マリア・トロンカッティ(1883年-1969年)の手紙より



### サレジオ会の宣教の意向

#### 第145回サレジオ宣教派遣-ヴァルドッコ-のために

第145回サレジオ会宣教派遣によって、1875年11月11日にヴァルドッコで最初に灯された宣教の火が、世界中のサレジオ会員の心に燃え立ちますように。

ドン・ボスコの時代から今日に至るまで、約11,500名のサレジオ会員、そして3,500名のサレジアン・シスターズ、数百名に及ぶ宣教ボランティアが、トリノのヴァルドッコで、総長の手から宣教の十字架を受けてきました。さらに2,000名のサレジオ会員が、それぞれの管区から直接、宣教地に派遣されています。今年もまた、ドン・ボスコの後継者はサレジオ会員、サレジアン・シスターズ、宣教ボランティアを派遣します。今や、宣教師たちはあらゆる大陸の出身であり、あらゆる大陸へと派遣されています。普遍的な宣教の使命は、多方向的なものとなりました。すべての管区共同体がそれぞれの国に閉じこもることなく、惜しめない広い心と普遍教会への開かれた姿勢において成長し、同時に、ほかの文化や国から来る会員を開かれた心で受け入れるよう、祈ります。

